

申請書等における性別記載欄の見直しについて（調査結果）

性的マイノリティの方々に対する人権擁護の観点から、本市の申請書や証明書等を全庁的に調査し、性別記載欄の見直しを進めることとしており、令和元年から継続して調査している。令和５年度の調査結果は以下のとおりである。

１ 調査期間 令和５年８月２５日～令和５年９月２２日

２ 調査基準日 令和５年４月１日

３ 調査対象文書

（１）市民が市に提出する書類（申請書、届出書、報告書、アンケート等）

（２）市が市民に交付する書類（証明書、通知書、許可書、アンケート等）

のうち、性別記載欄を設けてあり、今後も継続的に使用が見込まれるもの。

４ 調査結果

市に裁量がある書類について

年度	合計								
		削除可	うち 削除 済	改善率	うち 変更 予定	変更 予定 率	削除不可	うち 表記 工夫 済	改善率
R3	233	160	103	64.4%	22	13.8%	73	25	34.2%
R4	225	153	114	74.5%	14	9.2%	72	26	36.1%
R5	225	152	125	82.2%	6	3.9%	73	30	41.1%

５ まとめ

令和５年度当初では、市に裁量がある書類のうち性別記載欄の削除可能な書類は 152 件、そのうち削除済みは 125 件であり、改善率は 82.2%と前年より 7.7%改善した。また、削除不可能な書類は 73 件あり、「男・女の２択にせず、『空欄』や『答えたくない』という選択肢を追加する」など工夫している書類が 30 件で、工夫改善率は 41.1%と前回調査と比較して 5%増加するなど見直しが進んだ。

令和５年１２月時点では、年度当初『空欄』や『答えたくない』としていた書類は、性別欄の削除もしくは任意記入に改善が進んでいた。また、改善に伴い旧様式となった書類の在庫について確認したところ、在庫を使い切ってから新様式を使用したり、元々の使用頻度が少ないため必要時にＰＣより印刷したりするなど、在庫は確認できなかった。

今後も、性別記載欄を削除するよう働きかけるとともに、削除不可能な書類について工夫して対応するよう求めていく。また、市に裁量のない書類については県や国の動向を注視し、記載方法の変更があった場合は遅滞なく変更するとともに、性的マイノリティの人権擁護やダイバーシティに関する職員研修も引き続きおこなっていくことで、誰もが住みよいまち鯖江になるよう推進していく。

(非公開、手持ち資料)

年度						
	合計 (A+E)	既存 (A=前年 度合計 -B-C+D)				新規 (E)
			廃止 (B)	裁量[有] から[無] に変更 (C)	裁量[無] から[有] に変更 (D)	
R3	233	210	2	2	0	25
R4	225	224	8	1	0	1
R5	225	224	3	1	3	1